

ノドグロと奈古駅と三江線と割子蕎麦、そしてしまねっ子電車

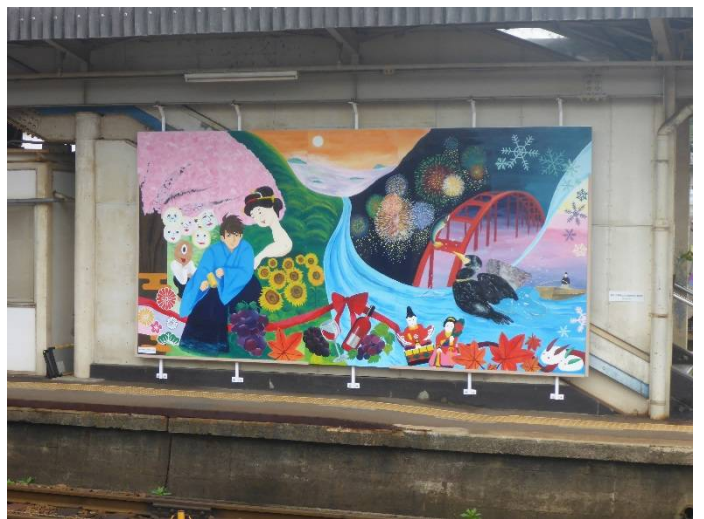
8月12日&13日。教員3人、三江線&山陰線全通記念旅。文章少なめ写真多め報告。 DAY-1

12日、備後庄原でY先生と落ち合っ、キハ120にのる。程なく三次駅に到着。



三次でK先生を待つ。

隣には広島行きキハ47系のタラコ色。これから三江線と山陰線を使って浜田まで行こうというのである。



モノノケと萌え画で押しまくる？

地元の学生が描いたと思われる絵画。
三次名物が一堂に。

1番線に広島発が到着。
K先生、結構ギリギリで間に合った。

白地にブルーの帯。
ようやく3人で
三江線おなじみの車両に乗り込む。



別名三江線の天空駅。宇津井に到着。

少しだけ停車時間が長いのを利用してホームにでる人々多数。駅から見下ろした集落。石州瓦が映える。



列車はトンネルをいくつもすぎて江の川にまわりつくように沿線を列車は走ってゆく。水面に映える空と緑が美しい。



山と村と川を結びながら列車は、(仮の) 終点 石見川本駅に到着。

列車は折り返し・・・と思いきやここで列車番号が変わるだけで、そのまま同じ車両で江津までゆくが、一端、ここで客取扱いを終了して車内を空にする。

小一時間、山陰の山中で時間を持て余す。

お昼の時間とも重なることから昼飯を求めて駅から岩見川本の街にでる。

列車は止まったまま。



ちょっと怪しい食堂でお昼を済ませる。

お二人は地元定食、私はとても家庭的な親子丼を食べた。これもいい経験。ビールも沁みる。



約1時間後、列車が江津に向けて出発。

出発時、駅の裏山の山腹に謎の大石を見つけた。

江津に到着。



構内は広く、ホームも長い。
車列の長い列車にも対応できる。

ちなみに三江線は3番線。

駅は学生や帰省客で
ちょっとした賑わいをみせていた。



「江津のうわさ」で町おこし？
う～ん・・噂がディープすぎて、
どうなんだろう地域振興には・・？

ちなみに
のぼりは手作りだった。

日本製紙の煙突が目立つ。

島根の背骨に沿ってまずは浜田～益田
に向かう。



本日の宿泊地、浜田。山陰線の中でも、大きな駅に属する方、2面3線だが、奥に検車区があったような・・
むかしむかし「出雲」があったときここが終点だったことも、そして、そのころ 14 系客車の急行「だいせん」
乗って米子からここまで、これまた DD51 に牽引された客車普通列車で来たことを思い出した。10 分程度停車
した後、アクアライナーは出発した。



益田駅でアクアライナーから下関行きタラコ色キハ 40 系に乗り換え、風情が益々深まる。
ちなみに私は駅でビールを購入。車内であおった。最高じゃ～・・・・・！
K 先生に羨ましがられる。



車窓から海が眩しい。 台風一過。少し海が荒れている。でもそんな波が日本海だ。西海に日が傾く。



幾つものトンネルを抜け、抜けた海のワンドをみつつ列車は進む。その後、何の変哲もない。田舎の寂しい駅、奈古駅に到着。つい最近（8月10日開通）までここは不通区間だったところ、平成25年7月28日の大雨で須佐から奈古まで長らく不通だったことを思えば寂しい田舎駅にも感慨深いものがある。



行き違い設備もなくって
しまったよう。

駅舎にはいい雰囲気漂う。

それにしても Y 先生の乗
車プランニングには脱帽。
三江線のみならず山陰線
の開通部分も乗り鉄でき
るダイヤであった。



その後は、やはりキハ 40 系で益田まで戻り、そこで浜田行きキハ 120 に乗り換えた。

夜 9 時前に浜田に到着。駅前のホテルにチェックイン後、K 先生ご推薦の”居酒屋”でノドグロとその諸々、
兎に角、とてもおいしい肴とおいしい酒を沢山いただいた。これが本旅の目的。

おいしすぎて写真を撮り忘れた。そのためにまた浜田に赴きたい。

13日、ホテルのロビーに8時半に集合後、すぐ浜田駅に向かう。



朝の浜田駅。島根でも大きい駅。

さすがお盆の時期なので駅前に鉄道利用の人の列が・
と思いきや・・広島行き的高速バスを待つ列だった。
しかも2台で運用！



駅のロータリーには出雲神話と神楽のからくり時計。9時と同時に動き出した。なかなかお金がかかっている。
ここでK先生。一言。「浜田は人口規模が庄原とほぼ同じなのだか・・・」
まあまあ。それはそれ。気を取り直して早速ホームに向かう。



石見神楽のラッピング列車。
これは中々の迫力。芸備線でも真似したい。
その前に、まずこのキハ126系を芸備線に導入したいと思う。

残念ながら我々はこの列車には乗らず。出雲市に向けて出発。



出雲市駅ではサンライズに遭遇。出雲市駅は出雲大社を模した社殿風な駅舎。

ここを下車した我々は出雲市駅に寄り添うようにたつ「一畑電鉄」の電鉄出雲市駅に行く。



急いで、切符を購入。 といってもこんな感じで3人が3人とも1日フリー乗車券を購入した。



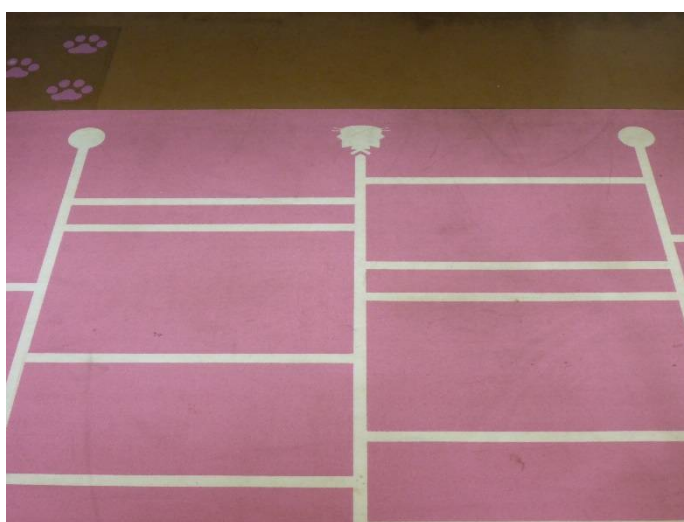


うちわにもなっている乗車券を扇ぎながらホームへ、そこにはピンクのしまねっこ号が入線。

ゆるキャラと縁結びに特化した電車である。



しまねっこ。
お社が帽子になっている。



床には「あみだくじ」みたいな線が
そうかそうか。「フィーリングカップル」ってか！



といわけで、
この命名。

そういえば、この車内、夏休みということもあつてか、女子大生とおぼしき2,3人組の旅行者が多かったような気が・・・。

列車は定時に出発。
そう言えば「電車」って乗るのは久しぶりだ。

一畑電鉄「川跡駅」で同社大社線に乗り換え、しまねっこ号から無印 2100 系に移る。



折しも、夏休みで出雲大社に向かう人々でちょっとした乗り換えの賑わい。

田舎駅の 2 面 4 線。この配置がたまらない。1 番線には南海電鉄の所属だった懐かしいズームカーも伺える。田舎の交換可能駅に列車が一堂に会するのはいい光景である。



出雲大社前駅に到着。本来なら出雲大社に参拝だが、駅撮影。それと構内に設けられたデハ 52。

出雲大社前駅は中々洋風。教会のような外観と内部はステンドグラス。





駅は夏休み中とあって、混んでいる。 駅前によく整備された参道で気持ちいい。

K先生はこの時間を使って出雲そばを食べに行った。

Y先生の綿密なスケジュールのおかげで時間が有効に使える。折り返しの電車で出雲大社前駅を出発、再び川跡駅で今度は乗り換え、松江宍道湖温泉駅行きに乗る。



今度は、旧南海ズームカーに乗る。

個人的には幼き頃から何度も乗っていた懐かしい車両。

前面の曲線と大きな2枚窓がいい。

南海電車の昔の特急車両。ズームカーのズームとは平地の安定したスピードと急こう配の急加速にも耐えうる拡大活用ができることから名づけられたとか。



電車は宍道湖に沿って松江方面に進んでゆく。湖面と雲が神話の国のイメージを盛り立てる。

しばし電車にまったりとした時間が流れる。



松江宍道湖温泉駅に到着。
一畑電鉄を乗り通した。

ここから松江駅にバスで移動。
バスが念入りに市内を巡りながら
松江駅へ。

松江駅ではお土産を探したり、
お弁当を購入したり、
そして、3人で出雲おでんと出雲の
割子そばを頂いた。

今回、おいしい旅を満喫し過ぎたの
で、残念ながら食べ物の写真がなぜ
か写真が一枚もない。そもそも、私
は食事中に写真を撮ろうとは思わないのだろう。お弁当とビールを購入した我々はそそくさと松江駅のホームに
上がった。次は、宍道駅から木次線に乗り換える。これも Y 先生の計画。



松江駅。おとなしめな感じ。

宍道でアクアライナーを降りる。



ピンクも鮮やかなゆったりやくもが宍道駅に到着。

その対面には木次線のキハ 120。

列車はゆっくり宍道駅を出発。同業者と思われる方々をたくさん乗せながら列車は木次に向かう。旅ももう終盤だ。少しビールを飲んでいい気分になっていると列車は木次に到着。



木次駅には車両基地があり、田舎の駅の風情と何両もの列車が揃う風景が相対的でとてもいい。そうこうしているうちに2番線にタラコ色キハ120が入線。



同業者の方々と思しき人々をほとんど乗せて列車は備後落合に向かう。車窓からは奥出雲の深い山々。



出雲三成、「砂の器」で有名な亀嵩駅、そして出雲横田を過ぎて列車はいよいよ中国山地の最上部へ差し掛かる。

列車はとにかく上る。



猫の額のように山と山の間にした平地を鉄路は伸びる。

この地に鉄道を通した人々の執念だろう。

まっすぐ伸びたレールが物語る。



3段スイッチバックで有名な出雲坂根駅に到着。延命水でも有名な駅。短い停車時間を使って写真を撮る。田舎の駅で少し複雑な両渡線の存在は中々シビレルのだ。



1段、2段と列車はスイッチバックを登ってゆく。

中国山地を乗り越えてゆく。



列車はあえてゆっくりとおろちループのある風景を走ってゆく。

中国山地の標高 700mを超える場所を超えてゆく。絶景。絶景。
肥薩線の風景を思い出した。

その後、列車は広島県に入ると約 300m の高低差を一挙に下る。



最後に備後落合まで 300m を降り切った。

ここで木次線は終了。次は芸備線。



ひっそりと佇む備後落合。因みにここは庄原市。

芸備線に乗りかえて、旅もいよいよラストスパート。



備後落合から更に 200m ほど高低差を下って、この旅の出発地で最終地である備後庄原に無事到着。

K 先生、Y 先生ご苦労様&ありがとうございました。

両先生を乗せた列車を見送りながら、しばし旅の余韻にひたる。「また、行きましょう。」

ノドグロと奈古駅と三江線と割子蕎麦、そしてしまねっ子電車

8月12日&13日。教員3人、三江線&山陰線全通記念旅。文章少なめ写真多め報告

完